

眼科の手術の進歩は目覚ましい

創刊号で過去3年間（2008年～2010年）の手術実績を掲載しましたが、今回は、その後の2年間（2011年と2012年）の手術実績を報告させていただきます。

「10年ひと昔」とはよく聞く言葉ですが、眼科においては、「5年前の常識は、現在の非常識」と言われるほど眼科の診療は、日進月歩で目を見張るほど進化発展しています。

手術の分野もしくかりで、新しい手術方法が次々と開発されています。いくつか紹介します。

<眼瞼下垂手術：ミュラー筋短縮術>

加齢に伴い、まぶたが下がってくる眼瞼下垂は、皮膚深部の上眼瞼挙筋（図1）を短縮する挙筋短縮術が常識でしたが、ここ数年前よりまぶたの裏側近くにあるミュラー筋（図1）を短縮することでまぶたが挙上することが分かり、このミュラー筋短縮術が徐々に普及してきています。

当院で眼瞼下垂手術を担当している宮田信之先生が考案した手術法ですが、炭酸ガスレーザーを使ってほとんど出血もせず15分位で終わります。彼はこの手術を全国各地で年間1300例以上行っています。恐らくこの数は全国一ではないかと思います。

<角膜内皮移植術>

白内障手術後やレーザー手術後に角膜が腫れて白く濁ってくる水泡性角膜症という病があります。これに対しては、角膜移植が第一選択の治療になります。

この角膜移植の手術方法は、角膜全層移植術（図2）が常識でしたが、最近、角膜内層のみを移植することで、角膜の腫れや濁りが取れることが分かり、この内層（内皮）移植術（図3）が普及してきています。

本邦で最も多く角膜移植が行われている東京歯科大では、この内皮移植が全層移植を超えようとしています。内皮移植は縫合がないため乱視が出にくく、視力の回復が早く、拒絶反応が少ないなど多くのメリットがあります。

当院でも、今年の3月、2人の角膜移植が行われ、1人に角膜内皮移植が施行されました。全層移植に比べ、視力の回復が早く、すばらしい手術方法だと感心しました。

この他、緑内障手術や硝子体手術においても目覚ましい進歩が遂げられています。

手術実績

	2011年	2012年
白内障手術	1,544	1,549
網膜硝子体手術	111	101
眼瞼手術（下垂・内反症）	178	153
緑内障手術	29	17
翼状片手術	67	85
涙道内視鏡手術	91	84
網膜光凝固術	147	138
顔面神経麻痺形成手術	2	3
結膜弛緩症手術	41	22
その他手術 〔後発白内障・ 乱視矯正手術など〕	660	686
合 計	2,870	2,838

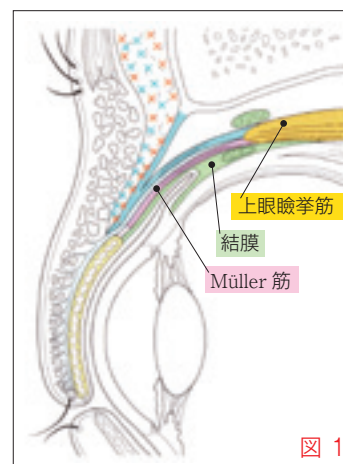


図1



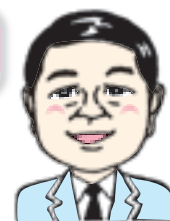
図2 角膜全層移植術



図3 角膜内皮移植術

院長 大塚 慎一 記

白内障手術について (その6)



大塚 慎一

白内障手術症例－多焦点眼内レンズについて

<最近開発された多焦点眼内レンズ>

白内障手術は、濁った水晶体を取り出し、代わりに眼内レンズを挿入します。現在、白内障手術で使用されている眼内レンズは、多くは単焦点眼内レンズといい、遠くなら遠くだけ近くなら近くだけというように、ある1つの距離に焦点を合わせたレンズです。従って、遠くをはっきり見えるようにすれば、近くは老眼鏡が必要になり、逆に近くが見えるようにすれば、遠くをはっきり見るためには、近視の眼鏡が必要になります。

これに対して、最近開発された多焦点眼内レンズ(図1)は、遠くと近くの2つの距離に焦点が合うように設計されており(図2、図3)、遠くも近くもある程度眼鏡なしで見ることができます。症例を提示します。

<症例>

[症例1] 65歳男性

[主訴] 両眼の視力低下。[眼所見] 遠方視力 右眼0.4 (0.8)、左眼0.06 (0.6)。近方40cm視力 右眼0.2 (0.7)、左眼0.15 (0.4)。両眼の強い近視と両眼の水晶体混濁を認めた。両眼の白内障に対し、多焦点眼内レンズ挿入を希望され手術施行。術後遠方視力 右眼1.5 (1.5)、左眼1.2 (1.5)。近方40cm視力 右眼1.0 (1.0)、左眼0.9 (1.0)。

[症例2] 56歳男性

[主訴] 左眼の視力低下。[眼所見] 遠方視力 右眼0.7 (1.2)、左眼眼前手動20cm (0.01)。近方30cm視力 右眼0.9 (1.0)、左眼0.02 (0.02) 左眼水晶体の混濁を認めた。

左眼白内障に対し、多焦点眼内レンズ挿入を希望され手術施行。術後左眼遠方視力1.5 (1.5)。近方30cm視力1.0 (1.0)。

症例1は両眼に、症例2は左眼のみに多焦点眼内レンズを挿入し、どちらも遠くも近くも眼鏡なしでよく見えるようになりました。

<多焦点眼内レンズは万能眼内レンズか>

白内障手術に多焦点眼内レンズを使用すれば、ある程度眼鏡なしで遠くも近くも見ることができます。“ある程度”というのは、多焦点眼内レンズは、前述したように遠くと近くの2か所に焦点が合うように設計された、いわば2焦点眼内レンズで、若い頃のようにどこにでもピントが合うというわけではないからです。ということは、手元と遠方は、はっきり見えますが、中間距離(50～70cm)が若干見劣りするということになります。従って仕事上見にくい距離には、眼鏡が必要になる場合もあります。また、多焦点眼内レンズは、単焦点眼内レンズに比べコントラストが落ちると言われています。また、夜間、車のライトや街灯などを見ると、光が縦横に長く伸びたり、まぶしかったり(グレア現象)、光のまわりに輪ができたり(ハロー現象)することがあります。グレアやハローはしばらくすると気にならなくなると言われていますが、手術して、しばらくは夜間の運転は注意が必要です。

<多焦点眼内レンズは普及するか>

多焦点眼内レンズは、単焦点眼内レンズと比べ大きな違いがあります。それは、多焦点眼内レンズの見え方に脳が慣れるのに2～3か月かかるという点です。特に神経質な方に多く見られます。

多焦点眼内レンズは、都市部を中心に全国で白内障手術の約1%に使用されています。そのうち、8割～9割が手術に満足し、1割弱が手術に対しては不満足という結果になっています。

多焦点眼内レンズは、保険適応にはなっておらず、高額な割に見え方に不満が残れば、患者様にとっても手術した側にとっても望ましいことではありません。

単焦点眼内レンズにするか多焦点眼内レンズにするか、どちらを選択するかは主治医と十分相談の上、本人の性格やライフスタイルに合わせて決定されるのがよいと思います。



図1. 多焦点眼内レンズの一種(回折型)



図2. 多焦点眼内レンズの一種回折型デザイン

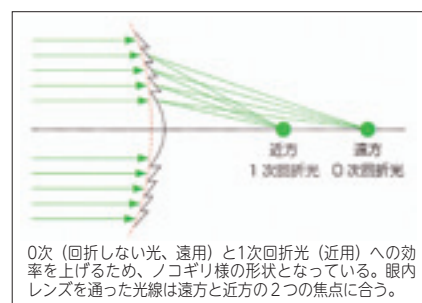


図3. 回折型レンズを通過した光線

● 近藤先生講演会 ●



平成25年3月30日（土）
三重大学病院眼科教授の近藤先生による講演が当院会議室で行われました。先生の専門であるERG（網膜電図）検査について、分かりやすくお話し頂き、大変勉強になりました。
また合わせて症例検討会も行われ、複数の検査結果をどう読むか議論しました。

● 眼科用車イスを導入しました!! ●

座面が上下可動式の為、車イスに座ったままで検査・診察がスムーズにできます。
使用ご希望の方は、スタッフまで、お気軽にお声をかけて下さい。



● 平成25年 当院の学会参加一覧（1月～4月） ●

1/5	アイファガン点眼液新発売記念講演会（福岡）	4名	3/2～3/3	日本眼科医会生涯教育講座（福岡）	5名	3/24	大分視能訓練士勉強会（大分）	2名
1/25～1/27	日本眼科手術学会（福岡）	5名	3/16	大分糖尿病眼合併症セミナー（大分）	2名	3/30	福岡Cornea Forum（福岡）	2名
2/16	大分大学眼科研究会（大分）	2名	3/22	大分糖尿病治療 up to date（大分）	1名	4/4～4/7	日本眼科学会（東京）	4名
2/23	九州大学眼科研究会（福岡）	1名	3/23	豊の国眼科フォーラム（大分）	7名	4/26	大分anti-VEGF研究会（大分）	3名
2/24	アイリーア新発売記念講演会（大阪）	1名	3/24	学術講演会 AMD治療の意義に迫る（福岡）	1名	4/27	九州眼科アカデミー（福岡）	5名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

5月		6月	7月	8月
10日（金）	24日（金）	8日（土）	6日（土）	3日（土）
硝子体手術	網膜専門外来・硝子体手術	硝子体手術	眼瞼手術	硝子体手術
（福岡）林眼科病院 副院長 吉村先生	東京女子医科大学 教授 飯田先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生	京都府立医科大学 渡辺先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生
11日（土）	30日（木）	15日（土）	13日（土）	9日（金）
眼瞼手術	白内障手術	涙道内視鏡手術	網膜専門外来・硝子体手術	硝子体手術
京都府立医科大学 渡辺先生	（東京）井上眼科病院 副院長 徳田先生	（岡山）すぎもと眼科 院長 杉本先生	東京女子医科大学 教授 飯田先生	（福岡）林眼科病院 副院長 吉村先生
16日（木）		28日（金）	13日（土）	
硝子体手術		緑内障専門外来	硝子体手術	
（宮崎）浮之城眼科 院長 鳥井先生		琉球大学 教授 澤口先生	横浜市立大学 教授 門之園先生	

専門医紹介 7



井上眼科病院 副院長
徳田 先生

徳田先生は東京にある日本最大級の眼科病院である井上眼科病院（常勤眼科医約30人弱、非常勤医師まで含めると約50人）の副院長で、白内障手術のパイオニアであり超一流の術者として大変有名な先生です。診療以外でも日本眼科手術学会理事、日本白内障屈折矯正手術学会理事など多方面でご活躍されています。お忙しい中、当院へは14年前より年に4～5回来て頂いており、難しい白内障手術の他に瞳孔を整復する手術をお願いしています。徳田先生の診察・治療をご希望の方は当院スタッフ・医師までご相談下さい。

新 入 社 員 紹 介



高橋

2月より勤務させて頂いてます、看護師の高橋です。眼科という特殊な分野でわからない事ばかりですが、先輩方のご指導の下頑張ってます。

患者様の目線に立ち、心のかよった看護ができるように、日々努力していきたいと思ひます。



江藤

こんにちは。視能訓練士の江藤です。

3月25日より、約4年振りに大塚眼科に復帰させて頂くことになりました。

新病院での勤務は初めてで、

新しい器械、新しいシステムにとっても驚いています。

1日でも早く慣れ、患者様の役に立てるよう、頑張ります。

診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:30	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田 第2木曜日のみ 大塚 中野	大塚 野田	大塚 野田
午後 14:00 ～ 18:00	中野	中野	中野	午後 休診	野田	午後 休診
手術日 (午後)	白内障	白内障	白内障	—	翼状片 眼瞼下垂 内反症	—

※専門医による硝子体手術・緑内障手術・眼瞼手術・涙道手術は随時行っています。

※受付時間は午前7:30～午後5:00までです。

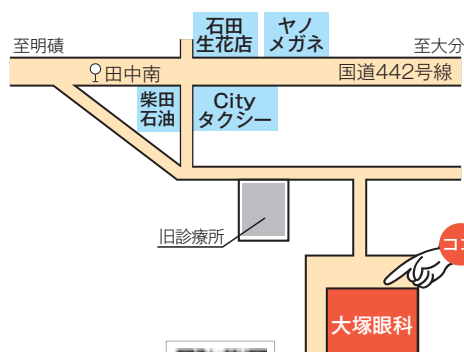
※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。事前に電話にて御予約をお願い致します。



ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

野田
(副院長)
井上
氏川
野崎
小野
本幡
三宮

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

